自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
Ⅰ.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホールのスタッフが見える所に理念を掲示し、スタッフで声掛けし意識して実践するようにしている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている (B)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護度が重くなっており、利用者の方と買い物に出かける事が難しくなっているが、作品を出品する事での参加やオカリナボランティア、職場体験の受け入れなども行い、交流が持てた。近所のスーパーで買い物を行いエコステーションも利用している。	運営推進会議を活用し、地域住民によるボランティアの訪問や地元の中学生等の職場体験も実施し、地域とのつながりを持ちながら暮らしている様子が毎月の新聞等でもよくわかった。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	二ヵ月に一度、運営推進会議を開催している。民生委員等地域で活躍されている方々が参加され、利用者の現状報告資料を作成し報告。意見を聞いたり、地域の情報を教えてもらっている。	日々利用者の状況も変化するため、2か月に1回の運営推進会議で現状の報告を受けている。苦情や事故についても、都度報告しており、特に苦情については率直な意見を聴かせてもらい改善につなげている。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護相談員が定期的に来られている。運営推進会議等で、包括の方に実情を伝え、困難事例があるときは相談している。又虐待等の対応について学ぶ機会をもらっている。	介護相談員はできるだけ受け入れていくように努めている。又、運営推進会議には必ず包括支援センターの方が参加して下さり、事業所の実態を伝え困難な事例に関しては意見を聴かせてもらっている。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束委員会を設置し、委員会の意見を基に研修を行い、知識を得る事で実際のケアに活かしている。玄関の施錠も夜間のみで開放的な環境でサービスを提供している。		(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待防止委員会で課題を提案し、定期的に職員全員参加の研修を実施。知識を得て、日頃のケアの中、スタッフ同士が注意しあい意識して防止に取り組んでいる。ニュース等で虐待の事件が報道された時はその都度、職員に通達し、注意喚起を行っている。		(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	何が利用者の権利を侵害することになるか認識を深め、権利擁護の研修で再確認している。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	見学及び契約時に契約書、重要事項説明書の説明を行い、質問を伺った上で印鑑を頂いている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に家族会を開催し、家族の意見や要望などを伺っている。また、面会時や電話でも連絡を取っており、会議で話し合い共有している。		A. 充分にできている (B) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている (C.) C. あまりできていない D. ほとんどできていない	カンファレンスでスタッフの意見を聞いている。事情により、参加困難なスタッフも zoom にて参加し意見を聞いている。話の内容は代表者に伝え、反映させている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の状況の把握に努め、ミイダスのアンケートを実施しスタッフのストレスチェックを行ったり、スタッフ個々の事情を考慮し、シフト希望も取り入れ勤務を組んでいる。		A. 充分にできている (B) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	内部研修の他、外部からも講師を呼び研修を行い、スタッフのキャリアに応じ、資格が取れるように支援している。スタッフ間でも指導や相談、助言が出来るようにしている。		(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	カンファレンスにて他事業所と一緒に研修会に参加し、意見交換を行う機会を持っている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	業務を優先してしまう事はあるが、スタッフや他の方との関わりを大切にし、話をしながら作業などを一緒に行う事を大切にしている。			

15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外出や面会は予約をして頂き、面会は居室で行えるようにしている。ボランティア受け入れや行事等で地域の方との交流も増えている。	馴染みの方々との関係継続については、日常的なつながりを大切にしていること(例えば電話や手紙宅急便での贈り物、友人兄弟等の連絡通信)を伝え、できない事例もあることを伝えた。		
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に家族と話をしたり、毎日の様子や変化を記録し変化に気づく事、希望や思いを聞いている。スタッフ間での話し合いの場でできる限り支援できるようにしている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	カンファレンスで話し合った内容や、家族会で家族と話した内容を共有、相談しながら、現状に合わせた介護計画を作成している。	本人や家族の意見を基に介護計画書の作成を行っているが、家族の立場としては実態がよくわからないと何を希望として伝えるといいか迷うといった意見を頂き、できるだけ日常の様子を伝えていく工夫が必要なため、スタッフにも伝達していく。	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の様子、ケア状況など iPad に記録し、スタッフ間で情報を共有している。カンファレンスでの話し合いも行い、計画書作成に活かしている。		Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に訪問診療や訪問看護、訪問歯科を利用している。又、皮膚科の往診や個別で訪問リハビリを受けるなど、個々の状態に応じ対応している。利用者の方の日々の状態の変化について医療職に相談し対応しいている。	介護サービスとしては別事業を利用することができないことを説明し、その中でも医療を必要とされている利用者に、どうしたら利用できるかを事業所と相談し利用者が困らないようにしていることを報告		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	敬老会への作品の出品や地区の運動会へ参加(見学)ボランティアの方のオカリナ演奏会の受け入れを行い、楽しまれた。移動美容室も活用している。また、エコステーションにペットボトルや段ボールをリサイクルに出している。	地域資源について、利用者が利用できるといいのではないかという観点から、参加者の皆さんより活用できそうな地域資源の情報を頂く。例えばボランティア・昔馴染みの友人・小中学生・美容室やドラックストア・スーパー等		

21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	嘱託医の定期的な訪問診療や訪問看護にて日常の健康管理を行っている。訪問看護とも連携をとり、状態悪化時も常時相談、対応している。また、必要に応じて、紹介状の記入を嘱託医にし、他院の受診がスムーズにいくようにしている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時には、紹介状や情報提供書を作成し、書類を提出。適時連絡を取り合っている。また、退院時にスムーズに対応できるよう調整し、入院中の情報提供書類ももらっている。		(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時、看取りの指針の説明を行いホームでの体制について説明している。定期的に家族に状態を報告しており、状態の悪化があれば、主治医や訪看と連携し対応している。		(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている (C) あまりできていない D. ほとんどできていない	急変時の対応や事故発生時の連絡方法については掲示してあり、救急対応や AED の講習を受け急変時の対応について講義を受けている。定期的な避難訓練は実施している。交代制勤務の為、すべてのスタッフが参加は出来ていない。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている (B) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	避難訓練は定期的に実施し地域の方も参加して頂いている。また、目の届く所にハザードマップを掲示し、スタッフが意識して見えるようにしている。	避難所の指定を受けているが情報が地域に伝わっていないのではないか？万が一の場合、事業所は安全な場所なのか？利用者はどうなるのか？等の質問があった。	A. 充分にできている (B) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	尊厳を持ち・信頼関係を築けるように、声掛けや対応に十分気を付けている。馴染みの関係になっても声かけには注意している。		(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	。

27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている (B) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	1日の業務の流れはある程度決まっており、業務を優先して対応してしまう事があるが、日々の関わりの中で利用者の声に耳を傾け、できる限り反映できるよう一人ひとりに合わせた声掛けや対応に心がけている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	好みや希望を聞き(パンやジュースなど)を提供している。簡単な作業を一緒に行い手作りおやつを提供している。食事の盛り付けなどの食事の準備や食器拭きなどの後片付けなどできる事を一緒に行っている。		(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の食事量や水分摂取量などを記録し、嚥下能力に応じて食事の量や形態等工夫している。また、水分も好みに応じてゼリー状、ジュースなどを提供し、水分量が確保できるようにしている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている (B) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に訪問歯科でケアの指導を受けている。毎食後、一人ひとりの状態に合わせた口腔ケアの支援を行っている。特に義歯の手入れに関して重点的に行っている。		A. 充分にできている (B) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	iPad や申し送りで排便チェックを行い、排泄パターンの把握を行っている。個々の状態にあった排泄用品の使用やトイレ誘導などの対応を行っている。介護度が高い方も 2 人介助等で対応し、日中出来るだけトイレを利用している。排便については医療職に相談し、下剤調整を行っている。		(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている (B) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体状況に応じ、機械浴、一般浴の曜日が決まっており、基本的に入浴日は決めているが、その時の状況や希望に応じてその都度対応できるようにしている。			

33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日中の活動や眠気など様子を見ながら休息を取り入れている。ホールで過ごされている。窓際にソファもあるため、ゆっくり寛いで頂いている。夜間、なかなか寝付けない方に対してはお茶やおやつを提供。話をし、睡眠に繋がるように工夫している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居宅管理指導の薬剤師と連携し、一人ひとりの服薬一覧表を作成しスタッフが把握できるようにしている。服薬介助を行う際はスタッフ同士でダブルチェックを行い誤薬防止に努めている。		(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている (C) あまりできていない D. ほとんどできていない	天候に応じ日光浴や散歩、ドライブなどを行い気分転換を図っている。一人ひとりのできる事ややりたい事を探りながら、役割を持てるように作業量を調整し提供するなど支援している。一緒に作業しながら話しを聞き楽しみのる生活が送れるように支援している。	自己評価はあまりできていないと評価されているが、内容を見るとできているという内容が多い。できていないと評価するより、できていないと思う内容は改善策を講じて、できている所は頑張っていると評価したほうがいいのではないか	.	
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている (B) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族や本人の希望については検討、相談し短時間でも外出できるように工夫している。ホーム対応の外出や散歩、日光浴などは行っている。	ごかぞくからの要望として多いのは、墓参りと外食。できるだけ家族と共に過ごす時間は作って頂くよう心掛け、ホームでも天気のいい日は屋外に出ることを増やしていきたい。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在は自己管理を希望される方はいない。家族よりお小遣いを預かり、ホームでお小遣い帳を記入し管理している。希望された時や必要な日用品などの購入を行っている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている (B) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人の携帯電話を所持している方がいる。その他の方も家族から電話がかかってきたら、本人と話せるように取り次ぎ、希望があれば電話をかけ、話ができるように支援している。			

39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	(A)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自宅で使用していた馴染みの家具や物を持ち込み安心できる環境づくりを行っている。ホールなどの共用空間には季節を感じられる掲示物や外出、ホームでの生活風景の写真などを飾っている。在宅での生活に合わせて毎朝夕のお勤めを行っている。		(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
Ⅳ. 本人の暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている (B)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の利用者の方との会話や定期的にご家族との話を聞いており、本人とも話をしながら、思いを汲み取り意向に沿った暮らしができるようにしている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている (B)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域行事（運動会や敬老会に作品を出品）などで参加し、祭りの際はお神輿がホームに来ている。またボランティア受け入れも行い、楽しみが持てるようにしている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に訪問診療や訪問看護、訪問歯科などがあり、状態報告を行い相談している。また、日々の様子観察を行う中で状態の変化があれば、医療職に連絡し早期発見に努めている。		A. 充分にできている (B) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている (B)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自由にホールや居室などの行き来ができ、散歩などを希望されたら対応している。本人の状態に合わせ個々の習慣が保てるように支援している。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができている	A. 充分にできている (B)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居室に馴染みのものや写真などを飾り落ち着いた生活が送れるように心がけているが、混乱を招く場合もあるため、一人ひとりの状況に応じて対応を検討している。		A. 充分にできている (B) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会や外出等ご家族からの要望に応えるよう努めている。感染期により制限がある場合は、墓参りなどの短時間の外出が実施できるよう家族と相談・連携を図っている。また、地域行事へもなるべく参加できるように工夫している(作品出品など)	小学校の運動会等は行けなくなった場所もあるが、町内の運動会は毎年ベンチを用意してくれるため楽しみな行事になっている。少人数でも毎年参加を続けていきたい。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家事や作業の中から本人が好きな事、出来ることをみつけ、スタッフと一緒に行っている。作業などを行う事で、感謝の気持ちを伝え、役割を持つ事で達成感を感じて頂ける様に声かけや提供方法を工夫している。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	できる限り活気ある生活を送れるよう心掛けている。重度の方は食事や入浴等に時間を要することもあるが、なじみの関係を大切にし会話をする機会を多く持ち笑顔で過ごせるようにしている。		A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	オカリナ演奏ボランティアや中学生の職場体験の受け入れも行い、ホーム内が活気づいた。	運営推進会議で情報を頂き、ボランティアの訪問が増えた。		
49	総合	本人は、このGHにいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ほとんどのスタッフは専従となっており、利用者とスタッフが馴染みの関係になっている。利用者のこだわりや個々の生活パターンの把握ができている。「ここにいて良かった」と笑顔で言って下さる方もおり、安心した表情で穏やかに生活されてる。	職員は固定化されているため、利用者と馴染みの関係はできている。嘱託の医師や訪問看護師の方も決まった人が訪問してくれるため、利用者との会話も親しみやすい会話になっている。	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	